

は じ め に



本山町は、美しい自然に恵まれ、歴史的にも多くの先覚の士を生みながら、嶺北地域の政治・経済・文化の中心として栄えてまいりました。

1910年(明治43年)6月1日に町制を施行して以来、明治・大正・昭和・平成・令和と五つの激動の時代を歩んできているところで、先人の地域づくりに懸けた情熱に想いを馳せつつ、志高く町政の発展に尽力された皆様に深甚なる敬意を表し感謝申し上げます。また、この町で歩んで来た先人たちの熱い想いを受け継ぎ、自然豊かな郷土を守り、次世代へと持続可能なまちづくりを目指していかなくてはなりません。森、水、花、そして人(住民)が主人公です。

さて、当町を取り巻く状況は、少子高齢化や人口減少の急速な進行により、社会経済環境は大きく変化したほか、自然災害をはじめとする様々なリスクに対する危機管理意識や、エネルギー・環境に対する住民意識の高まりなどにより、大きく変化しております。

こうした状況を踏まえ、振興計画は第2期「本山町ひと・しごと・まち創生総合戦略」との整合性を保つつ、目標を掲げ重点的に推進を図って行きたいと考えております。

最後に、平成23年の地方自治法の改正により、基本構想の法的な策定義務は廃止されましたが、魅力あるまちづくりを総合的かつ戦略的に進めていくための指針となる振興計画の策定は、依然として必要と考え、これまで同様、議会の議決を経たうえで基本構想を策定することとしました。町の将来像を提示することにより、計画に掲げる目標についての理解と共通認識のもとに住民の参加と協働を期待し、令和2年度を初年度とする第7次本山町振興計画を策定しました。この計画の実現に住民の皆様とともに推進する決意を新たに、策定にご協力いただきました関係者各位に心からお礼を申し上げます。

2020年6月

本山町長 細川 博司